

令和3年度 羽島市民病院運営委員会委員意見まとめ 議事(2) 委員意見と病院回答

No.	意見	回答
1	長引くコロナ禍の中、日夜頑張っておられる病院関係者の皆様に深く敬意と感謝を申し上げます。	地域の急性期・二次救急病院としての役割を果たすとともに、働く職員の勤務環境にも配慮しつつ、新型コロナウイルス感染症にも対応してまいります。
2	懸案であった医師の確保等、令和3年度の主な取組みを大いに評価します。	地域の医療ニーズに必要な診療体制の確保に引き続き努めてまいります。
3	羽島市民病院は市民にとってなくてはならない病院です。2025年度取組みについては、より市民の風評の改善に向け、開業医の先生方との連携を深めていただき、推進していただきますようよろしくお願い致します。	地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために頼られる病院となるよう、地域の医療機関、施設等との連携を推進してまいります。
4	病院内のスタッフの皆様、本当に日々御苦勞様です。毎日落ちつかない、そして安心できない生活を送りつつも、いろいろな情報の中、いかに注意日々を送るかと認識していかなければならない事を痛感しております。	働く職員の勤務環境にも配慮しつつ、自治体立病院として、災害時における医療、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症へ対応可能な体制の確立に努めてまいります。
5	2023年3月に明確化予定の外來機能報告では、「紹介中心型の病院」(『医療資源を重点的に活用する外來』を地域で基幹的に担う病院機能)を当然目指されるものと推測していますがそれでよろしいでしょうか。 「患者数の確保 入院・外來患者数の確保に努めました」といった表現等が使われると、担う姿、目指す姿が不明確になってしまうと思いますのでご一考をお願いします。	今後、多くの地域で外來需要が減少し、また医療の高度化が進む中で、限られた医療資源を効果的・効率的に活用し医療の質の向上につなげていくために、2023年度より外來機能報告を開始し、「地域における医療資源を重点的に活用する外來を地域で基幹的に担う医療機関」を明確化して外來医療の機能分化・連携を進めていくこととされています。 当院においても、地域の医療機関との連携強化、紹介・逆紹介の推進による役割分担を進めながら、国の調査により示される基準に照らし合わせて検討してまいります。
6	地域の医療機関の「かかりつけ医」の定着を推進するための連携強化を図り、役割分担を進め、薬局・歯科・介護福祉施設・ケアマネジャー・行政等との連携を推進していますと述べられていますが、現状の評価、問題点の有無等と今後の具体的な進め方等について詳しくご教示ください。当方もこのような連携強化には今以上に積極的にご協力していきたいと考えますのでよろしくお願い致します。	当院退院後の患者様や救急外來受診後の患者様等について地域での暮らしを支えていくためには地域の関係者へつなげていくことが重要であると考えております。 現在、新型コロナウイルス感染症のまん延により地域の医療機関や介護福祉施設との連携が難しい状況が生じておりますが、連携に対する取り組みとして、退院調整や逆紹介を通じた連携に努めるとともに、「かかりつけ医」制度や機能分化・役割分担に関する患者様・ご家族様の理解を得るための広報活動を推進してまいります。
7	羽島市民病院が求められる役割に、記載のとおり、この地域になくてはならない病院として、羽島市民病院が位置づけられています。今回、コロナ禍でも、それが証明されています。また、今後の少子高齢化社会で、ますます在宅医療の必要性が見込まれています。その為には、羽島市民病院の在宅療養支援体制が必要不可欠のものです。計画通り実行していただきたいと思っています。	羽島市唯一の病院として地域の二次救急医療、急性期医療の役割を担い、また、自治体立病院として災害時や感染症等の地域政策医療が果たすべき役割だと考えています。 加えて、今後需要が増していく高齢者等の回復期機能への対応及び地域の医療機関との連携等を通じて在宅療養後方支援病院としての役割を果たすなど、在宅医療を支えていくことが、地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために不可欠であると考えております。
8	令和3年度に既に放射線科医、麻酔科医、呼吸器内科医、外科医、精神科医、その他多数採用されていて、地域住民も安心して、羽島市民病院へ受診すると思われれます。また、我々開業医も自信を持って羽島市民病院へ紹介できると思います。その他、令和3年度の取組みすべて評価できるものです。	「地域住民に寄り添い頼られる病院」、「安心して明るく働きがいのある職場環境」、「持続可能な病院運営体制」を目指し、引き続き医療体制の充実、地域の医療機関との連携強化を図ってまいります。

No.	意見	回答
9	<p>今年度決算見込み、中期経営計画、ともに評価できるものであり、すべて市民が羽島市民病院を信頼して受診できる内容であると思います。市民への広報活動も重要です。</p>	<p>令和2年度の病院運営委員会において、経営形態については、羽島市行政関係職員と病院職員で開催した病院改革プランワーキンググループでの検討結果として、経営形態の変更が直接的に経営改善に繋がるわけではないことから、現段階では他の経営形態ではなく、一部適用の経営形態を維持し経営改善に努めることが望ましいという結論にいたったことを報告し、その方針をお認めいただきました。このため、現在の経営形態を維持することを前提とした中期経営計画策定の方向性についてご報告し、頂いたご意見に基づき、令和3年度は中期経営計画を策定し、経営改善に取り組んでまいりました。</p> <p>引き続き健全経営を目指して経営の効率化を図るとともに、地域住民の皆様、地域医療機関、施設の皆様からの信頼を得るための広報活動に努めてまいります。</p>
10	<p>コロナ禍における病院運営、ご苦勞様です。さらに4名の常勤医師の採用に感謝します。 施策(E)広報の推進ですが、医師会員には羽島市民病院の現状を知らず、過小評価している人もいます。医師会向けにアピールできる場(Webもあり)ができればと思っています。</p>	<p>地域の医療機関の皆様からの信頼が重要だと考えており、羽島市医師会の皆様との連携を密にし、積極的な情報を発信に努めてまいります。</p>
11	<p>麻酔科、放射線科、呼吸器内科、外科の医師が増員されるとのことです。地域の病院として、病診連携をさらに進めていただきたいと思えます。</p>	<p>地域住民皆様の住み慣れた地域での暮らしを支えるため、市内唯一の病院として、地域の診療所との連携強化を図ってまいります。</p>
12	<p>大幅な常勤医師の増員がみられ、昨今の状況下では、奇跡に近い慶事です。病院長の力量に感服するとともに今後の病院の発展が大いに期待されます。</p>	<p>当院の役割を果たすために必要な診療体制の確保に引き続き努めてまいります。</p>